

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38128
事業名	はり・きゅう・マッサージ施術料助成費					
評価担当課	所属名	保)保険医療部 保険企画課				
	課長名	山本	担当者名	岸田	電話番号	211-2341
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input checked="" type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	健康寿命の延伸及び各種健診の受診率向上			
		長期	健康寿命の延伸			
	取組内容	足腰等の痛みや体調不良の愁訴があり、はり・きゅう・マッサージにより改善を図り健康の保持増進を望む65歳以上の市民(健康保険による「あはき」治療を受ける者を除く。)のうち申請者に対し、市の登録施術所での施術料の助成を行う。施術所においては、各種健診(特定健診、がん健診など)を受診したかどうかを確認してもらうとともに、未受診者には施術所から受診勧奨する。 申請者数:R3実績 2,520人 R4見込 2,395人 助成金額及び回数:1人当たり1回1,000円(5回まで)				
実施結果	65歳以上の市民のうち申請者に対し、市の登録施術所での施術(健康保険適用外に限る)で利用可能な助成券を1人5枚送付した。 助成券の内容等:1枚1,000円分 申請者数:2,520人(12,600枚分) 助成金額:6,553千円(6,553枚分)					
事業実施における工夫点	広報さっぽろやジェネリック医薬品希望シール(国保被保険者証の年次更新時に同封)の裏面に、事業案内を掲載し、事業の周知を図った。					
対象者	65歳以上の市民	開始	平成30年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市はり・きゅう・マッサージ施術料助成事業実施要綱					
他都市の状況	・札幌市のほか高齢者等を対象に同様の事業を行っている政令市は14市(千葉、さいたま、横浜、相模原、新潟、静岡、浜松、岡山、京都、神戸、広島・北九州・福岡・熊本)					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	6,161	10,000	6,763	12,532
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	6,161	10,000	6,763	12,532
事業費の内訳	令和3年度決算	助成金額:6,553千円 その他事務費:210千円		
	令和4年度予算	助成金額:12,150千円(2,430人×5回×1,000円) その他事務費:382千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	助成券申請者数		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		1887	1940	2520	2430
活動指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		指標名	健康寿命延伸や受診率向上に係る定量的な効果把握が困難なため		
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	<p>○健康寿命の延伸 本事業の周知・実施により、65歳以上の市民が健康保持のために施術を受ける環境づくりを行っていることから、健康寿命の延伸に寄与していると考えている。</p> <p>○各種健診の受診率向上 登録施術所が助成券を受領する際、市民に対し各種健診の受診を案内しており、受診率向上に寄与していると考えている。</p>			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	<p>本事業は、国保運営協議会での施術費あり方検討会からの答申を受け、従来国民健康保険の被保険者に限定していたものを、広く市民を対象に変更して実施したものである。また、他の政令都市と比較して、事業内容(対象者・助成内容)は概ね同様である。</p> <p>一方、申請者数が想定よりも多かったことから、今後の申請者数の推移を注視するほか、広報・周知方法について検討していく。</p>			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	<p>本事業を効率的に実施するため、施術団体に加盟している登録施術所については、施術団体を通じて連携している。</p> <p>また、市民への周知については、広報さっぽろやジェネリック医薬品希望シール(国保被保険者証の年次更新時に同封)の裏面に事業案内を掲載し、事業の周知を図った。</p>			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	<p>市民からは、助成金額や助成対象年齢の拡大などの意見が一定程度あるものの、他政令都市や予算規模などとのバランスを踏まえると、概ねニーズに応えていると判断する。</p>			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	<p>申請者数が想定よりも多かったことから、今後の申請者数の推移を注視しながら申請者数を予想し、適正な事業費を積算する。また、広報・周知方法についても、その必要性から検討していく。</p>				
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	<p>申請者数の増加を予想し、事業費を積算した。</p>			見直し効果額 (前年度)	2,450 千円
今回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	<p>本事業の実施内容については、市民から一定の理解が得られていると認識している。</p> <p>一方、助成券の交付を受けても利用しない申請者がいることから、より実態に合わせた申請者数を見込む必要がある。</p>				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 令和3年度までは新型コロナウイルス感染症による影響により、外出を避ける市民が一定程度いたと認識している。一報、今後については外出制限が行われる可能性は低いものと考え、助成券の利用率増加も見込まれるものと考え、助成金額は現状維持とする。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 申請者実績に応じて事業費を積算する。			見直し効果額